

# 2018年度 情報処理学会 東海支部報告会

日時：2018年5月28日(月) 15:00～15:50  
会場：ホテル ルブラ王山 2階千成

## 次第

- I 開会の辞
- II 支部長挨拶
- III 報告事項
  - 1 2017年度事業報告
  - 2 2017年度決算報告
  - 3 2018年度運営委員会改選結果報告
  - 4 2018年度運営委員
  - 5 2018年度事業計画
  - 6 2018年度予算
  - 7 その他
- III 閉会の辞

## 添付資料

- 資料1 2017年度会議日程
- 資料2 2017年度連合大会資料
- 資料3 2017年度主催講演会一覧
- 資料4 2017年度研究会等協賛・後援一覧
- 資料5 2017年度学生研究発表助成
- 資料6 2017年度学生論文奨励賞選定結果
- 資料7 2017おもしろ科学教室結果報告

一般社団法人情報処理学会東海支部  
【事務局】 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル7階  
公益財団法人中部科学技術センター内  
Tel: (052) 231-3564 E-mail: Shibu@ipsj-tokai.jp  
<http://www.ipsj-tokai.jp/>

## 1. 2017年度事業報告

### 1.1 支部報告会（詳細は資料1参照）

計画：1回 実績：1回

### 1.2 運営委員会（詳細は資料1参照）

計画：3回 実績：3回

※当年度第3回と次年度第1回は共同開催

### 1.3 幹事会（詳細は資料1参照）

計画：5回 実績：5回

### 1.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1回 実績：1回

※詳細は資料2参照

### 1.5 主催講演会

計画：6回 実績：6回

※詳細は資料3参照

### 1.6 研究会等

計画：随時 実績：9回（協賛、後援）

※詳細は資料4参照

## (学生向け事業)

### 1.7 学生研究発表会助成

計画：1件 実績：1件

※詳細は資料5参照

### 1.8 学生論文奨励賞

計画：1回 実績：1回 表彰者 6名

※詳細は資料6参照

## (若年層向け事業)

### 1.9 おもしろ科学教室

計画：1回 実績：1回 子供参加者 108名

第9回おもしろ科学教室

開催日：平成30年1月8日（月）祝日 会場：名古屋大学

※詳細は資料7参照

### 1.10 ジュニア会員制度

小中高校生、高専生、大学学部1～3年生 対象、会費無料

URL <https://www.ipsj.or.jp/member/junior.html>

2. 2017年度決算報告

1. 収入の部

(単位:円)

収入科目	2017年度	
	予算額	決算額
(1) 交付金	3,155,000	3,187,000
(2) 連合大会収入	944,000	923,488
(3) 助成金	60,000	60,000
(4) 雑収入	0	0
年度収入計(A)	4,159,000	4,170,488

2. 支出の部

(単位:円)

支出科目	2017年度	
	予算額	決算額
(1) 事業費	1,658,000	1,422,520
支部大会(連合大会)費	1,198,000	990,074
講演会・研究会費	275,000	266,834
支部助成金費	50,000	45,000
支部表彰費	78,000	70,612
おもしろ科学教室	57,000	50,000
新事業調査(連続セミナー)	0	0
(2) 管理費	2,279,000	2,109,689
年次報告会費	270,000	195,480
会議費	137,000	70,392
事務委託費	1,801,000	1,800,900
通信費	10,000	9,699
消耗品費	7,000	1,134
雑費	54,000	32,084
年度支出計(B)	3,937,000	3,532,209

3. 収支

(単位:円)

支出科目	2017年度	
	予算額	決算額
単年度収支(A-B)	222,000	638,279
前年度累積収支(繰越金)	879,989	879,989
累積収支(翌年度への繰越金)	1,101,989	1,518,268

### 3. 2018年度支部運営委員改選結果報告

選挙期間：2018年2月1日～2018年3月4日

A：投票用紙発送数 1,125件（1月現在会費納入済の正会員および名誉会員）

B：投票数 221票

C：投票率〔B/A〕 19.6%

D：開票結果

役職	候補者氏名	得票数
支部長	村瀬 洋	214
副支部長	大島 哲也	206
幹事	鈴木 秀和	205
〃	鳥居 豊	204
〃	森崎 修司	205

E：候補者以外の選定 なし

退任者

支部長 小幡 哲丈（アビームシステムズ）  
 副支部長 村瀬 洋（名古屋大）  
 幹事 稲森 豊（豊田中央研究所）  
 幹事 竹内 義則（大同大）  
 幹事 本田 晋也（名大）

留任者

幹事 白松 俊（名工大）  
 幹事 出口 大輔（名古屋大）  
 幹事 丹羽 恒（中部電力）

#### 4. 2018 年度東海支部運営委員

役職	氏名	所属
支部長	* 村瀬 洋	名古屋大学
副支部長	* 大島 哲也	トヨタコミュニケーションシステム
幹事	白松 俊	名古屋工業大学
幹事	* 鈴木 秀和	名城大学
幹事	出口 大輔	名古屋大学
幹事	* 鳥居 豊	デンソー ITソリューションズ
幹事	丹羽 恒	中部電力
幹事	* 森崎 修司	名古屋大学
委員	* 伊藤 孝行	名古屋工業大学
委員	伊藤 憲生	OKI ソフトウェア
委員	** 稲垣 宏	豊田工業高等専門学校
委員	宇佐見 庄五	名城大学
委員	* 大野 和彦	三重大学
委員	* 小笠原 秀美	中京大学
委員	* 草刈 圭一朗	岐阜大学
委員	澤野 弘明	愛知工業大学
委員	* 上口 光	信州大学
委員	* 杉浦 宏幸	中部電力
委員	谷口 和宏	デンソー
委員	* 徳永 賢一	トヨタ自動車
委員	外山 勝彦	名古屋大学
委員	* 深谷 宏一	メイテツコム
委員	藤戸 敏弘	豊橋技術科学大学
委員	増澤 智昭	静岡大学
委員	松浦 勇	あいち産業科学技術総合センター
委員	山下 隆義	中部大学
委員	山本 晋一郎	愛知県立大学
委員	吉田 敦	南山大学

(五十音順)

## 5. 2018年度事業計画

### 5.1 支部報告会

計画：1回

### 5.2 運営委員会

計画：3回

※当年度第3回と次年度第1回は共同開催。

### 5.3 幹事会

計画：5回

### 5.4 支部大会（電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会として主催）

計画：1回

### 5.5 主催講演会

計画：6回

※本日の特別講演会を含む。

### 5.6 研究会等

計画：随時

※主催計画はなく、随時協賛・後援等を行う。

### (学生向け事業)

#### 5.7 学生研究発表会助成

計画：1件

#### 5.8 学生論文奨励賞

計画：1回

### (若年層向け事業)

#### 5.9 おもしろ科学教室

計画：1回

#### 5.10 ジュニア会員制度

「ジュニア会員制度」を支部事業の機会あるごとに周知する。

## 6. 2018年度予算(案)

### 1. 収入の部

(単位:円)

収入科目	2017年度		2018年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 交付金	3,155,000	3,187,000	3,459,000
本部交付金	2,515,000	2,447,000	2,719,000
賛助還元金	440,000	540,000	540,000
助成金	200,000	200,000	200,000
(2) 連合大会収入	944,000	923,488	923,000
(3) 助成金	60,000	60,000	60,000
(4) 雑収入	0	0	0
(A) 年度収入計	4,159,000	4,170,488	4,442,000

### 2. 支出の部

(単位:円)

支出科目	2017年度		2018年度
	予算額	決算額	予算額
(1) 事業費	1,658,000	1,422,520	1,811,000
支部大会(連合大会)費	1,198,000	990,074	1,273,000
講演会・研究会費	275,000	266,834	300,000
支部助成金費	50,000	45,000	50,000
支部表彰費	78,000	70,612	94,000
おもしろ科学教室	57,000	50,000	57,000
かがくであそぼ広告掲載費	-	-	37,000
新事業調査(連続セミナー)	0	0	0
(2) 管理費	2,279,000	2,109,689	2,223,000
年次報告会費	270,000	195,480	237,000
会議費	137,000	70,392	112,000
事務委託費	1,801,000	1,800,900	1,801,000
通信費	10,000	9,699	10,000
消耗品費	7,000	1,134	7,000
雑費	54,000	32,084	56,000
(B) 年度支出計	3,937,000	3,532,209	4,034,000

### 3. 収支

(単位:円)

支出科目	2017年度		2018年度
	予算額	決算額	(B)予算額
単年度収支(A-B)	222,000	638,279	408,000
前年度累積収支(繰越金)	879,989	879,989	1,518,268
累積収支(翌年度への繰越金)	1,101,989	1,518,268	1,926,268



## 2017年度支部大会(電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会)概要

## 1 大会の概要

- (1) 期日：2017年9月7日(木)、8日(金) 2日間
- (2) 会場：名古屋大学
- (3) 主担当学会：情報処理学会東海支部
- (4) 主催：電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、  
照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、  
IEEE名古屋支部  
共催：電気設備学会中部支部、名古屋大学大学院工学研究科、  
名古屋大学大学院情報学研究科、  
名古屋大学未来材料・システム研究所エネルギーシステム寄附研究部門
- (5) 催事内容
- ・特別講演: 1件  
演題：「人工知能は共生社会の良きパートナーになりうるか？」  
講師：大阪大学 大学院工学研究科 知能・機能創成工学専攻 教授 浅田 稔 氏
  - ・合同企画シンポジウム: 1件 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会  
テーマ：「ディープラーニング」  
オーガナイザ/座長：村瀬 洋(名大)・加藤 丈佳(名大)・竹内栄二郎(名大)・  
川西康友(名大)  
「電力小売事業分野におけるディープラーニング活用の期待」  
森田 圭 氏 (JXTG エネルギー)  
「深層学習によるE2E行動学習」 有江 浩明 氏 (デンソー)  
「交通インフラの保守点検を目的とした Convolutional Neural Network を用いた  
移動体近傍の物体検出」 森 直幸 氏 (エルゴビジョン)
  - ・電気・電子・情報企画シンポジウム: 3件
    - S1. 電気学会企画  
テーマ：「電力分野における人材育成と技術倫理」  
オーガナイザ/座長：舟橋 俊久 氏(名大)
    - S2. 電子情報通信学会企画  
テーマ：「第5世代移動通信システム(5G)の最新動向と今後の展望」  
オーガナイザ/座長：岡本 英二 氏(名工大)
    - S3. 情報処理学会企画シンポジウム  
テーマ：「シビックテックとオープンデータ～ICT/AIと市民共創の接点～」  
オーガナイザ/座長：白松 俊(名工大)
  - ・一般講演 448件(オーラル：397件、ポスター：51件)  
(平成28年度490件、平成27年度597件、平成26年度563件、平成25年610件、平成24年度649件)
  - ・企業展示 3社  
(平成28年度5社、平成27年度4社、平成26年度12社、平成25年度3社、平成24年度3社)
  - ・広告・援助企業数 38社  
(平成28年度34社、平成27年度31社、平成26年度49社、平成25年度29社、平成24年度31社)
  - ・特別講演参加者数 50名  
(平成28年度76名、平成27年度130名、平成26年260名、平成25年度126名、平成24年度133名)
  - ・懇親会参加者数 75名  
(平成28年度81名、平成27年度96名、平成26年度119名、平成25年度73名、平成24年度92名)
  - ・大会参加者数 920名(暫定)  
(平成28年度945名、平成27年度1036名、平成26年度1255名、平成25年度1005名、平成24年度1069名)
- (6) 奨励賞  
審査希望申請者数：計321名  
(平成28年度328名、平成27年度488名、平成26年度439名、平成25年度483名、平成24年度500名)  
奨励賞選考数：計32件 ※奨励賞、電気学会B賞、IEEE学生奨励賞の合計  
(平成28年度33名、平成27年度50名、平成26年度45名、平成25年度48名、平成24年度50名)

## 情報処理学会所属受賞者

連合大会奨励賞：7名（12月決定）（平成28年度9名）

## 2 情報処理学会東海支部所属の委員

### (1) 大会委員会

委員長：小幡 哲丈（アビームシステムズ）

庶務幹事：本田 晋也（名大）・出口 大輔（名大）・加藤 雪邦（アビームシステムズ）

会計幹事：丹羽 恒（中電）

### (2) 実行委員会

委員長：村瀬 洋（名大）

幹事：本田 晋也（名大）・出口 大輔（名大）・加藤 雪邦（アビームシステムズ）

委員：白松 俊（名工大）

事務局：宮島 和恵（情報処理学会東海支部）

### (3) 現地委員会

委員長：村瀬 洋（名大）

幹事：出口 大輔（名大）

委員：本田 晋也（名大）

### (4) プログラム編集委員会

委員長：小幡 哲丈（アビームシステムズ）

幹事：本田 晋也（名大）

委員：出口 大輔（名大）・西田 直樹（名大）・白松 俊（名工大）

## 3 委員会

### (1) 大会委員会

第1回 2017年4月13日（木）於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室  
議題：開催日程・実施概要他

第2回 2017年7月19日（水）～25日（火） メール審議  
議題：プログラムの決定

第3回 2018年1月23日（火）於 ルブラ王山  
議題：事業決算報告・奨励賞贈、次回への申し送りなど

### (2) 実行委員会

第1回 第1回大会委員会と同時開催

第2回 2017年8月16日（水）於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室  
議題：大会プログラム

第3回 2017年9月8日（金）於 名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室  
議題：大会運営、今年度大会の報告・反省・申し送り事項

第4回 第3回大会委員会と同時開催

### (3) プログラム編集委員会

2017年7月14日（金）名古屋大学 IB電子情報館北棟5F 電気系会議室

## 4 次年度以降の予定

2018年度（平成30年度）

会場校：名城大学

日程：2018年9月3日（月）、4日（火）

主担当学会：電子情報通信学会

2019年度（平成31年度）

会場校：未定

日程：未定

主担当学会：電気学会東海支部

以上

## 情報処理学会東海支部 主催講演会一覧

年度回数	開催日 担当 会場 参加者数	テーマ (演題) 講師 所属・役職
2017年度 1 累計57名	2017/5/26 奥水 ルブラ玉山	「人工知能の最前線とDeepZenGo」 ("The current state of AI technology and computer Go") 加藤 英樹 氏 チーム DeepZen 代表
	2017/7/10 出口 名古屋大学	「情報処理が加速する自動運転技術開発の最前線」 (Recent development of autonomous vehicle utilizing information technologies) (IEEE ITS Society 名古屋チャプターと共同開催) 菅沼直樹 氏 金沢大学 新学術創成研究機構 准教授 ほか2名
3 累計153名	2017/10/11 白松 名工大	「伽藍とバザールとオープンガバメント」 ( "The Cathedral and the Bazaar," and Open Government ) 関 治之 氏 一般社団法人Code for Japan代表理事
	2017/11/24 本田 名古屋大学	「ニューラル・ネットワークにおける情報量の表現とFPGA実装」 (Numerical Representation in Neural Networks and FPGA Implementation) ルーウィ ヴァレニャ氏 ザイリンクス株式会社
5 累計227名	2017/12/4 丹羽 東桜会館	(第2回運営委員会同日開催) 「IoTプラットフォームの構築事例とセキュリティ対策」 (Building case and security measure on a IoT platform) 齊藤 隆明氏・北川 幸弘氏 中電シーティーアイ株式会社
	2018/1/29 稲森(佐藤) 名古屋大学	「IoT時代のソフトウェアシステムのための実行時モデリング技術 - 機械学習と制御理論を応用したシステムの自動更新 -」 (Run-time modeling technology for software system in IoT era) 鄭 顕志准 氏 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系
6 累計245名		

## 情報処理学会東海支部 研究会等協賛・後援一覧

年度回数	開催日 分類	行事名 テーマ(演題) 主催者
2017年度 1	2017年10月7日 2017年10月8日 協賛	IEEE Metro Area Workshop in Nagoya, 2017 (MAW2017) テーマ「自動車と日本の未来」 IEEE Nagoya Section
2	2017年10月28日 2017年10月30日 協賛	第26回 日本コンピュータ外科学会大会 一般社団法人 日本コンピュータ外科学会
3	2017年11月14日 協賛	プロジェクトマネジメント学会 中部支部シンポジウム プロジェクトマネジメント学会 中部支部
4	2017年11月15日 2017年11月16日 協賛	フロンティア21エレクトロニクスショー2017 「ものづくりを支える最新のエレクトロニクス技術」 中部エレクトロニクス振興会
5	2017年11月26日 協賛	情報学ワークショップ (WiNF 2017) 中部大学 工学部 情報工学科
6	2017年12月8日 協賛	ソフトウェアテストシンポジウム2017東海 JaSST' 17 Tokai 特定非営利活動法人ソフトウェアテスト技術振興協会 JaSST' 17 Tokai 実行委員会
7	2018年1月26日 協賛	平成29年度専門講習会 「ディープラーニングとその医用画像応用」 (一社)電子情報通信学会東海支部
8	2018年2月16日 後援	ET・IoT Technology 名古屋 一般社団法人組込みシステム技術協会
9	2018年3月23日 協賛	ESD21オープンフォーラム 「ICTビジネス・イノベーションとソフトウェア」 一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会 (ESD21)

## 2017年度学生研究発表会助成

### 助成募集概要

助成対象となる発表会：2017年3月1日～2018年2月28日の間に開催される研究発表会  
複数大学の学生が発表すること。

発表する東海支部学生会員が10名以上。

申請期間：2017年3月1日～2018年2月28日

助成件数・予算額：1件、総額5万円以内

助成金額ガイドライン：参加学生会員1名3千円(申請1件につき上限5万円)。

応募多数の場合は、幹事会での審査により決定。

### 助成実施

発表会名： 情報学ワークショップ (WiNF2017)

発表会実施日： 2017年11月26日(日) 会場：中部大学

申請者(所属)： 岩堀 祐之(中部大学)

助成額：45,000円

以上

## 2017年度 学生論文奨励賞選定結果

情報処理学会東海支部に所属する学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）で、情報処理に関する学問や技術の分野において優秀な成果をあげ、その将来を嘱望される方に学生論文奨励賞を贈呈します。

選定対象：学生論文奨励賞を申請するには、以下の条件が必要です。

- ・学生会員（卒業後1年未満の会員も含む）であること。
- ・2016年度中に情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議・全国大会・研究会、シンポジウムのいずれかにおいて、自らの研究成果を第一著者として発表した方であること。応募論文は、情報処理学会の論文誌、情報処理学会が主催または共催する国際会議、全国大会・研究会、シンポジウムに限る。
- ・申請時に満30才以下であること。論文誌については、採録通知があれば対象。

申請期間：2018年1月15日(月)～3月15日(木)

審査期間：2018年3月下旬～2017年4月初旬

選定委員会 日時：2018年4月13日(金) 16:00-17:00

場所：名古屋大学 IB 電子情報館南棟 4F462

選定委員：(敬称略)

委員長：小幡哲丈支部長 (アビームシステムズ)

委員： ①村瀬副支部長(名大) ②稲森 豊(豊田中研) ③白松 俊(名工大)  
 ④竹内義則(大同大) ⑤出口大輔(名大) ⑥丹羽幹事(中部電)  
 ⑦本田 晋也(名大) ⑧森崎修司(名大) ⑨田口 亮(名工大)

応募件数：11件

受賞者：6名

表彰式：2018年5月28日(月) 18:00から 於：ルブラ王山 葵の間

受賞者：氏名 (申請時所属) 『論文テーマ』

岡田 真実(名城大) 『Bluetooth over DTLS による IoT デバイスの遠隔制御システム』

加藤 新良太(静岡大) 『Design and Implementation of a Wireless Network Tap Device for IEEE802.11 Wireless Network Emulation』

河田 智明(名大) 『ARM TrustZone for ARMv8-M を利用した軽量メモリ保護 RTOS』

鍾 兆前(名大) 『組込み制御システムに対するマルチコア向けモデルレベル自動  
並列化手法』

野崎 佑典(名城大) 『改ざん検知暗号 Minalpher に対する階層的電力解析手法とその  
評価』

松原 百映(南山大学) 『人と高度自動化システムの協調モデルに基づく安全性要求分析  
方法の提案と先進運転支援システム (ADAS) への適用評価』

## 2017年度おもしろ科学教室（結果報告）

## 1 「第10回おもしろ科学教室」の概要

## 【趣旨】

日本の次世代科学技術を担う青少年の科学啓発等学会連携による地域社会科学技術理解増進活動の推進

## 【共催・協賛・後援】

共催：応用物理学会東海支部、電気学会東海支部、電子情報通信学会、情報処理学会東海支部、日本アマチュア無線連盟東海地方本部、日本赤外線学会、プラズマ・核融合学会、レーザー学会中部支部、日本弁理士会東海支部、名古屋大学工学研究科、豊田高専、総務省東海総合通信局、愛知県電波適正利用推進員協議会（順不同）

後援：中日新聞社

## 【具体的内容】

- 1) 対象：小学生、中学生、保護者
- 2) 目的：理科のおもしろさや楽しさを体験し、遊びの中で理科の色々な現象に対する興味と関心を持たせることによって理科好きの子供を育てるため、講演会、工作教室、展示を行う。
- 3) 日時：平成30年1月8日（月）祝日、13時から16時00分  
場所：名古屋大学 IB 電子情報館  
大講義室（300人ほど）及び教室4室（200人まで）  
1室50人程度

## 4) プログラム

名古屋大学会場

12時00分～受付開始

13時00分～13時30分 講演タイトル「青色発光ダイオードとノーベル賞授賞式のお話し」

講師：太田光一様（豊田合成）

13時30分～14時00分

電子紙芝居（日本弁理士会東海支部）

14時00分～14時30分 休憩・移動

13時30分～（16時まで継続）展示（予定）

① 注射器型火花放電装置、②プラズマボール、③大気圧低温プラズマジェット装置、④人工ダイヤモンド氷カッター⑤プラズマ・エネルギーに関するクイズ、⑥超電導磁気浮上列車（プラズマ・核融合学会）、⑦自転車発電機（電気学会）、⑧アマチュア無線の公開運用、⑨無線交信体験、⑩モールス符号で遊ぼう（日本アマチュア無線連盟東海地方本部）⑪「電波を見てみよう」実験（電波利用環境課）、⑫違法電波探索システム、⑬「電波の発射元を探そう」DEURAS-M展示・実演（監視課）、⑭電波適正利用の周知・啓発（推進員）

（以上、総務省東海総合通信局・愛知県電波適正利用推進員協議会）⑮ロボット（情報処理学会東海支部）⑯「ロボカップ」体験（豊田高専）⑰LED関連展示（豊田合成）

14時30分～16時00分 工作教室（予約制：各テーマ30～50名程度）

工作テーマ

- ① 電波でおにごっこ！キツネを探せ！（小学校1年生以上）定員50名（アマチュア無線連盟）
- ② 「対戦させよう！恐竜バトル」（小学校1年生以上）定員50名（応用物理学会）
- ② LED電子万華鏡を作ろう（小学校3年生以上）定員50名（日本弁理士会）
- ④ 「飛ばそう、受けよう、電波！！ーヘルツの実験 Ver. 2ー」（小学校3年生以上）定員30名（日本赤外線学会・レーザー学会中部支部）

## 【担当責任者】

高井吉明（実行委員会代表者）

愛知工業大学客員教授

豊田工業高等専門学校名誉教授、名古屋大学名誉教授

応用物理学会東海支部 評議員

電話0565-48-8121（内2120）

電子メール：takai@aitech.ac.jp

生田博志（実行委員会副代表者）

名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻教授

応用物理学会東海支部

電話 (052) 789-4462

FAX (052) 789-4463

電子メール：ikuta@mp.pse.nagoya-u.ac.jp

## 2 情報処理学会東海支部の活動

### (1) 参加方法

「主催」として参加

会場担当：川西康友助教（出口幹事の代理）

### (2) ロボット展示（ライントレーサー）

展示担当：本田幹事

その他、ジュニア会員チラシ配布

## 3 スケジュール

- ・11月初旬：工作テーマと講師・演題決定、チラシ原案作成
- ・12月初旬：募集開始、締め切り中旬、返信ハガキ（参加証）年末返送
- ・12月末：工作材料調達・加工、道具類の準備完了、アルバイト確保
- ・1月7日（日）午後、及び8日午前、リハーサル、案内等設営

## 4 結果・教室実績

全体参加者数：子供参加者 108 名、保護者約 200 名

### ※昨年度結果・教室実績

全体参加者数：子供参加者 135 名、保護者約 200 名

第2部

ロボット展示（アルバイト0名）

ジュニア会員チラシ配布枚数 18枚

実施額合計：50,000円

（内訳）協賛金 50,000円、展示費用 0円、アルバイト代0円

## 5 次回に向けての申し送り事項

- ・経費節減が必要であったので、チラシ配布地域を削減したが、元に戻す予定。
- ・やや、マンネリ化の気配もあったが、今後新しいテーマを含めて、さらに継続して開催できる方法を予算面、運営面から検討し、この地域の各種団体の連携を推進することを考える必要がある。
- ・テキストに関しては経緯削減で参加児童に配布せずHP上に掲載することとしたが、次回も同様とする予定。
- ・今回は、名古屋大学工学研究科の共催を得て実施したが、次年度もお願いすることとする。

以上